



開所日時 月・水・木・金曜日
15時～18時
土曜日 10時～13時

児童デイ

職員研修について

一宮まごころでは7月5日(土)「自閉症の人への支援に役立つ応用行動分析」を題目とした講演会(講師:服巻繁氏)にスタッフ2名が参加しました。

まごころ児童デイには40名ほどの利用者が登録されていますが、その約半数が自閉症のお子さんです。自閉症に限らず児童たちの行動を把握するには専門的な知識の修得が必要であり、しかもスタッフ全員の対応が同じでなければなりません。

今後もこのような講演会、セミナーに積極的に参加し、療育の環境の整備に努めてまいります。

全国のおやじ集まれ!!

障がいを持つ子どもの父親からなる「全国おやじの会」が立ち上げを予定されており、参加者を募集しています。

活動はメーリングリストを使って情報交換をしたり、教育や就労の問題について議論したり、時々集まってお酒を飲んで親交を深める会にしたいそうです。(全パソ会発起人)

興味のある方は右記のアドレスへどうぞ

ozoz@kcf.biglobe.ne.jp

「お互いさま」と「お陰さま」

▼忘れかけていることは

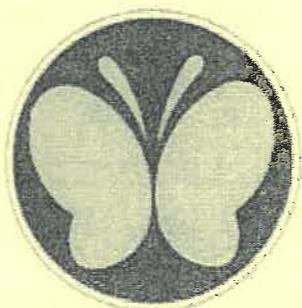
「お互いさま」「お陰さま」の心について考えるという文章を目にして、私たち日本人が最近忘れかけている大切なことばだと感じました。

私たち日本人は、お互いに助け合って支え合っていることを表現するために「お互いさま」といねいな言い方を使ってきました。自分がお世話になり、他人に奉仕することの大切さを自覚するためにあることばです。

▼「助け合い」の心

まごころの発足の理念も、この「助け合って支え合う」心を持って活動することから始まりました。利用される方、協力してくださる方、援助をしていただける方のご支援のお陰で、在宅支援サービスの活動を継続することができ

このマーク何?



聴覚障害者標識

- ・聴覚に障害のある方が運転する車には、「聴覚障害者標識」を付けなければなりません。
- ・周囲の運転者の方は、「聴覚障害者標識」を付けた車に、幅寄せや割り込みはやめましょう。「聴覚障害者標識」を付けている車の安全通行に配慮しましょう。

ました。制度では出来ない不足のサービスを補う支援を行って来ました。

▼「助け合い活動」から「市民事業」へ
現在では、活動の対価が最低賃金以上であることから、「助け合い活動」とは言わず、「市民事業」と位置づけられています。「助け合い」の心は変わらず持ち続けたいと思います。

ケア活動を行っていて、利用者さんから「ありがとう」の一言をいただくだけで、介護の仕事をして良かったと肩の荷が楽になったりします。

心から出る「お互いさま」と「お陰さま」の美しいことばを忘れないで生活を送りたいものです。



ミニデイだよ!

明るい笑い

岐阜経済大落語研究会OBの出前落語をミニデイで楽しむ機会がありました。日頃大声を出すことも少ない皆さんも、経大亭勝笑さんの軽妙な落語に腹の底から出る明るい笑いに包まれました。

その日の昼食はゴーヤ、なす、きゅうり、トマト等夏野菜がたっぷりと膳に盛られ、デザートには真っ赤なスイカが添えてありました。

皆さん、夏バテしないようしっかり食べて、今年の暑い夏を乗り切ってください。もちろん、水分補給も忘れずに!!お昼寝もいいですよ!

8月はTさんのお誕生日です。おめでとうございます!明るく若いパワーに、ミニデイはいつも大輪の花、「ひまわり」が咲いたようです。

日もすがら 風にきらめく若葉かな

Oさんの句

紅運び 少しおんなを取り戻す

中日新聞入選句 スタッフKさんの句



おしゃべりを楽しんでいる利用者さんと大和中学の研修生

シリーズ3

老化による体の変化と食生活

◆歯が悪くなりかむ力が衰えます

義歯になった場合、よく合っている、味覚はどうしても変化し、かむ力も低下します。やわらかくて口当たりのよいデンプン質や脂肪の多い食品を好むようになり、タンパク質や食物繊維が不足しがちです。調理も、いまあるかむ力をフルに使って食べられる程度の硬さや大きさにとどめることが大切です。

◆味覚や嗅覚が低下し、濃い味を好むようになります

老化による味覚の低下は、味覚を感じる舌にある味蕾(みらい)が萎縮したり、その数が新生児の1/2から1/3に減少することから起きてきます。味の濃いものを好むようになったら、糖分や塩分を摂り過ぎないように自覚を促し、香りや香ばしさ、うまみ、酸味などを加えて味覚を刺激するようにします。

◆唾液の減少、食道の筋肉の衰えから飲み込む力が低下

食べ物が口の中にいつまでも残っていたり、食道のぜんどう運動が弱くなり、食道内でつかえやすくなります。煮汁にかたく粉を加えてとろみをつけたりするなど工夫が必要になります。

◆胃や腸の働きが悪くなり、便秘がちになります

消化液も老化と共に分泌量が減り、消化に時間がかかるようになります。脂っこいものを食べると、胃にもたれたり、消化不良から下痢をすることもあります。あっさりした味好みは、こうした変化に対するしぜんな反応といえます。特に注意したいのは水分不足です。

のどの渇きを感じる中枢機能が低下して、のどが渇いても自覚しにくくなるため、周囲が注意して脱水症状を起こさないよう、定期的に水分を補給するようすすめましょう。

